



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月31日

上場会社名 三相電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6518 URL <http://www.sanso-elec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 岡本 富男

TEL 079-266-1200

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	12,337	29.2	567	110.7	656	54.8	651	166.6
2021年3月期第3四半期	9,549	8.2	269	13.1	423	47.6	244	34.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 809百万円 (121.5%) 2021年3月期第3四半期 365百万円 (363.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	144.28	
2021年3月期第3四半期	54.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	17,179	10,082	58.7
2021年3月期	15,749	9,356	59.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 10,082百万円 2021年3月期 9,356百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		22.00	22.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,800	22.2	740	92.2	820	40.4	770	91.4	170.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	4,621,900 株	2021年3月期	4,606,100 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	101,147 株	2021年3月期	101,087 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	4,514,481 株	2021年3月期3Q	4,498,493 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載することとしております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米や中国など海外経済の回復に伴う輸出の増加と、国内の活動制限の緩和を背景に持ち直しの兆しが見えたものの、新型コロナウイルス感染症の変異株が世界的に拡散しており、先行き不透明感が強まっております。

当社グループにおきましては、世界的な半導体不足の影響を受け、半導体製造装置は高水準の設備投資が行われ、当社製品である半導体製造装置用ポンプの受注も堅調に推移いたしました。

また、工作機械業界の受注は内需・外需ともに増加しており、産業機械用モータでも海外経済の回復に伴い設備輸出の増加と、製造業の設備投資意欲の高まりを受け、工作機械業界からのモータ受注も増加傾向が持続しております。

中国市場におきましては、電力不足による生産活動への影響があるものの、ワクチン普及や政府の経済対策を受け民間企業の設備投資意欲は強く、経済活動は引き続き拡大基調が続いております。当社製品の空調用モータの受注も堅調に推移しており、更に付加価値の高い市場や製品の受注拡大に努めてまいりました。

一方、部材の需給ひっ迫や資源価格の高値推移が続き、材料コストが上昇する中、部材の安定調達に努めるとともに、生産拠点の再編を図り設備稼働率と労働生産性を高め、更に間接費用の削減を進めるなど利益確保に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は123億37百万円（前年同期比129.2%）となりました。

営業利益は5億67百万円（前年同期比210.7%）、経常利益は6億56百万円（前年同期比154.8%）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億51百万円（前年同期比266.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ14億29百万円増加し、171億79百万円となりました。主な内訳として受取手形及び売掛金、電子記録債権ならびに仕掛品が増加したことによるものであります。負債は前連結会計年度末と比べ7億3百万円増加し、70億96百万円となりました。主な内訳として電子記録債務が増加したことによるものであります。純資産は前連結会計年度末と比べ7億26百万円増加し、100億82百万円となりました。これは主に利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年10月25日付「連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想を据え置いております。

今後大きな業績の変動が見込まれる場合、速やかに業績予想の修正を公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,922,802	2,502,741
受取手形及び売掛金	2,955,953	3,668,463
電子記録債権	1,584,902	2,029,086
商品及び製品	673,191	764,272
仕掛品	675,252	1,127,250
原材料及び貯蔵品	248,861	365,046
その他	221,293	245,384
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	9,281,256	10,701,245
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,267,757	2,265,219
機械装置及び運搬具（純額）	592,072	611,434
工具、器具及び備品（純額）	375,343	390,135
土地	980,749	824,619
リース資産（純額）	457,212	528,893
建設仮勘定	178,196	97,991
有形固定資産合計	4,851,331	4,718,293
無形固定資産		
その他	92,913	94,506
無形固定資産合計	92,913	94,506
投資その他の資産		
投資有価証券	940,110	1,090,007
繰延税金資産	377,383	307,615
その他	209,967	270,808
貸倒引当金	△3,300	△3,300
投資その他の資産合計	1,524,161	1,665,132
固定資産合計	6,468,406	6,477,932
資産合計	15,749,663	17,179,177

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	771,623	1,144,962
電子記録債務	1,225,039	1,900,953
短期借入金	370,600	370,600
1年内返済予定の長期借入金	339,975	318,325
未払費用	414,447	363,050
未払法人税等	160,333	45,428
その他	824,135	795,759
流動負債合計	4,106,154	4,939,080
固定負債		
長期借入金	620,915	480,063
リース債務	367,578	414,709
繰延税金負債	45,109	—
退職給付に係る負債	1,215,865	1,226,611
負ののれん	12,915	11,300
その他	24,990	24,990
固定負債合計	2,287,374	2,157,675
負債合計	6,393,528	7,096,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	885,721	893,684
資本剰余金	1,840,018	1,847,981
利益剰余金	6,479,929	7,032,158
自己株式	△79,064	△79,134
株主資本合計	9,126,605	9,694,689
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,824	76,739
繰延ヘッジ損益	46,650	67,756
為替換算調整勘定	121,683	252,182
退職給付に係る調整累計額	△10,628	△8,945
その他の包括利益累計額合計	229,529	387,732
純資産合計	9,356,134	10,082,422
負債純資産合計	15,749,663	17,179,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	9,549,000	12,337,882
売上原価	7,603,151	10,008,665
売上総利益	1,945,849	2,329,216
販売費及び一般管理費	1,676,228	1,761,230
営業利益	269,621	567,985
営業外収益		
受取利息	5,197	6,731
受取配当金	11,789	17,930
為替差益	—	22,570
投資有価証券評価益	28,506	—
投資有価証券売却益	1,269	2,129
負ののれん償却額	1,614	1,614
助成金収入	104,130	21,110
不動産賃貸料	8,434	27,534
売電収入	5,853	4,784
その他	8,579	9,779
営業外収益合計	175,374	114,186
営業外費用		
支払利息	5,145	5,210
投資有価証券評価損	—	3,553
為替差損	4,587	—
不動産賃貸費用	6,688	13,197
売電費用	2,926	2,603
その他	1,694	1,309
営業外費用合計	21,043	25,874
経常利益	423,951	656,297
特別利益		
固定資産売却益	47	123,121
投資有価証券売却益	93,219	—
特別利益合計	93,267	123,121
特別損失		
固定資産除却損	2,343	5,088
事業構造改革費用	109,196	—
その他	2,507	—
特別損失合計	114,046	5,088
税金等調整前四半期純利益	403,172	774,330
法人税、住民税及び事業税	154,095	106,818
法人税等調整額	4,768	16,173
法人税等合計	158,863	122,991
四半期純利益	244,308	651,338
親会社株主に帰属する四半期純利益	244,308	651,338

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	244,308	651,338
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89,033	4,915
繰延ヘッジ損益	26,147	21,105
為替換算調整勘定	△6,291	130,498
退職給付に係る調整額	12,305	1,683
その他の包括利益合計	121,195	158,203
四半期包括利益	365,504	809,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365,504	809,541

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、収益認識会計基準等の適用による、当第3四半期連結累計期間の損益および期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。また、「四半期財務諸表に関する会計基準(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報は記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は、現在も継続しており、当該影響を予測することは困難であると判断しておりますが、2022年3月期の一定期間に渡り当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。